

夏休みの作品の中から、理科に関するものを出品しました！
どれも工夫がいっぱいの力作でした！

☆玉島地区科学作品展(玉島市民交流センター 9/2・3)

○理科工作の部					
「ドキドキハラハラわっか通し」	3年生	橋本	壮	さん	
「空気砲」	4年生	芳村	大登	さん	
「射的」	6年生	富山	悠斗	さん	
○植物標本の部					
「野菜とくだものの断面図とたねしらべ」	2年生	清田	倅生	さん	
「植物採集」	4年生	吉仲	利音	さん	
○動物・鉱物標本の部					
「昆虫標本」	4年生	福森	太史	さん	
○図表研究物の部					
「氷のとけるスピード調べ」	5年生	井原	莉奈	さん	
「色の温度のちがいを見つけよう」	5年生	平松	龍輝	さん	
「二酸化炭素の秘密」	5年生	小野	葵	さん	

☆玉島地区児童生徒科学研究発表会(玉島高等学校 9/14)

玉島南小学校代表として堂々と発表しました。2人とも科学研究に挑戦してみて、もっと調べてみたいことが見つかったようです。ぜひ、みなさんも挑戦してみてください。

○4年生 扇喜 皐誠 さん 「牛乳でプラスチックを作ろう」



【調べようと思ったきっかけ】

テレビで牛乳を使ってプラスチックを作っている人がいて、環境にもいいし、材料も少ないし、簡単に作れそうだったので、自分でも作れるのか気になったのでやってみた。

【わかったこと・感想など】

・牛乳で作ったプラスチックをカゼインプラスチックという。
・普通のプラスチックは何年たっても、小さくはなるが、なくなることはない。でも、カゼインプラスチックは、自然の中で何年か経つとなくなるらしい。

○5年生 橋本 茉依 さん 「うくかな しずむかな やってみよう！ 続編」



【調べようと思ったきっかけ】

1年生の時の自由研究で水に浮く野菜と沈む野菜を調べた。その時は浮く野菜と沈む野菜を調べただけだったが、どうしてそのような結果になったのか気になったのでもっと詳しく調べることにした。

【わかったこと・感想など】

・野菜の密度を見てみると、水に沈む野菜は水より密度が大きく、浮く野菜は密度が小さかった。今までの実験結果と比べてみても、密度が関係していることが理解できる。



発表後には、玉島高校の生徒との交流(科学体験教室)も開催されました。

